

北軽井沢の落葉松林では、6月になるとハルゼミの大合唱となります。一体どこから湧き出してきたかと思う数で、「騒音公害」のレベルです。当然抜け殻もたくさん見つかります。

子どもの頃、盛んにセミの抜け殻を拾ったものです。今回はハルゼミの抜け殻をよく観察してみました。最も大きな特徴は、がっしりとした前あしでしょう。成虫の前あしはこのように太く頑丈そうには見えません。幼虫だけの特徴です。

理由の一つは、羽化する時に土を掘って地上まで這い出して来る必要がある為。もう一つは、羽化の為に木の樹皮に、しっかりとしがみつ়く必要がある為でしょう。抜け殻を見ても、樹皮の出っ張ったところに、前あしでがっしりとしがみついているのがわかる。

(2023年6月下旬/北軽井沢で撮影)

